



- ◆ 今回の特報は、和梨と西洋梨に分かれております。
- ◆ 6月下旬の定期散布は、袋かけ前の防除です。⇒散布後早めに（目安：3日以内に）袋かけが完了できるようにお願いいたします。
- ◆ ナシの生育は、平年並みの推移となっています。南水の結実状況は、全体的に良好。現状では果実肥大・果形も良好。なお、開花期の低温、霜等の影響で結実が不足している園では、摘果で着果位置の悪い果実（上向き果など）、変形果、果台の短い果実を残し生産量を確保してください。
- ◆ シンクイムシ類：越冬世代は5月上旬から発生。6月中旬頃～第1世代の発生が見込まれる。
- ◆ カメムシ類：5月の連休後からカスミカメムシ発生。ナシ類では、葉や果実に被害が散見。

## ● 和梨（有袋）の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

### 【有袋】6月下旬の薬剤散布（前回より15日後）

散布時期	6月20日～25日 ※左記は目安となります		◆ 散布日：6月 日
散布薬剤	水	100ℓ	◆ 散布量 ℓ
	展着剤	20ml	
	ベルコートフロアブル	50ml (14日前、5回)	
	劇剤 スupraサイド水和剤	66g (7日前、3回)	
対象病害虫	黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、カイガラムシ類、カメムシ類		
散布量	10a当り：450ℓ以上		
注意事項	① <u>袋かけ前の防除とする。⇒散布後早めに（目安：3日以内に）袋かけを行う。</u> ② <u>Supraサイド水和剤は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。</u> ③ 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100ℓ当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる		

### 【有袋】7月上旬の薬剤散布（前回より15日後）

散布時期	7月5日～10日 ※左記は目安となります		◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水	100ℓ	◆ 散布量 ℓ
	展着剤	20ml	
	アーデントフロアブル	50ml (前日、3回)	
	ロブドー水和剤	125g (14日前、5回)	
対象病害虫	黒斑病、シンクイムシ類、カメムシ類、ハダニ類		
散布量	10a当り：450ℓ以上		
注意事項	① ロブドー水和剤に代えて、キノンドー顆粒水和剤1,000倍（3日前、9回）でもよい。 ② 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬液付着効果が高まる。		

◆ 和梨（無袋）の定期防除は次ページをご覧ください

**和梨（無袋）の定期防除**（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

**【無袋】6月中旬の薬剤散布（前回より10日後）**

散布時期	6月20日前後 ※左記は目安となります	◆ 散布日：6月 日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 10ml ベルコートフロアブル 50ml（14日前、5回） 劇剤 スupraサイド水和剤 66g（21日前、2回）	◆ 散布量 リットル
対象病害虫	黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、カイガラムシ類、カメムシ類	
散布量	10アール当り：450リットル	
注意事項	① 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬剤付着効果が高まる。 ② スupraサイド水和剤は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。	

**【無袋】6月下旬の薬剤散布（前回より10日後）**

散布時期	6月30日前後 ※左記は目安となります	◆ 散布日：6月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り 展着剤 10ml アーデントフロアブル 50ml（前日、3回） ロブドー水和剤 125g（14日前、5回）	◆ 散布量 リットル
対象病害虫	黒斑病、シンクイムシ類、カメムシ類、ハダニ類	
散布量	10アール当り：450リットル	
注意事項	① 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬液付着効果が高まる。	

**【無袋】7月上旬の薬剤散布（前回より10日後）**

散布時期	7月10日前後 ※左記は目安となります	◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り 展着剤 10ml ベルコートフロアブル 50ml（14日前、5回）	◆ 散布量 リットル
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10アール当り：450リットル	
注意事項	① 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬液付着効果が高まる。	

次回特報 発行予定日：7月17日  
7月下旬、8月上中旬の薬剤散布について